全国市町村交流レガッタ　諏訪娘マミーズ準優勝

下諏訪ぎかし

Vol.45

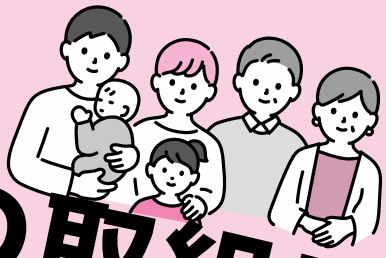
2024
9月定例会

特集

R５年度
物価高騰対策など
下諏訪町の取組み

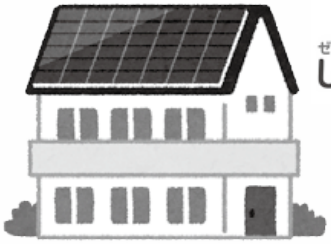
区長会
だっこの会
懇談会を開催
14・15P

下諏訪町の取組み



注目 2 ゼロカーボン推進事業費

総事業費は277万円であり、補助金助成事業では、太陽光発電システムで10件、高効率給湯器やLED照明に27件、ポータブル蓄電池3件の申請があり、合計40件、総額264万円を助成した



注目 3 DX 推進事業費

合計14事業で総額 1,901万円
（特定財源 823万円、一般財源 1,078万円）

①保護者アプリ　すぐーる
28万円（一般財源）
②公開型GISを導入し、町民から道路の問題等を通報できるようにした 539万円（特定財源・一般財源とも269万円）

※万円以下は、四捨五入

その他のいいね！事業

- **オリジナルナンバープレート作成 40万円**
  町制施行130周年を記念して、町独自のナンバープレートを作成した。
- **観光事業での商品開発 950万円**
  当初の売り上げ目標１千万円を上方修正し1,686万円を売上げた。
- **南小夜間照明改修工事 4,800万円**
- **北小プール及び照明施設改修 5,715万円**
- **健康ステーション管理 751万円**
  開館時間の延長や定期券発行で入場者の大幅な増加が図られた
- **補聴器購入・アピアランスケア助成事業 121万円**
  補聴器購入補助42件、アピアランスケア5件の申請があった。
- **自転車用ヘルメット購入補助 6万円**
  町独自事業で高校生まで補助金を助成した

5 伴走型及び経済的支援を含む出産・子育て応援事業も、新たに開始された。全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境整備や、個々に応じた支援につながるよう、また、そこに下諏訪町らしさがプラスされる事業の継続に期待。

6 物価高騰に悲鳴が上がった年度であったことを振り返れば、町の独自財源による独自の支援策に取り組んでいただきたい。

令和５年度 一般会計歳出決算総額
81億9,624万円

物価高騰対策など R５年度

注目１ 物価高騰対策 ３億4,978万円

合計11事業で総額３億4,978万円
・財源は
　国庫支出金３億3,182万円
　県支出金 1,227万円
　一般財源 569万円

保育園賄材料費 小中学校給食費補助

保育園の賄い材料費や小中学校の給食会へ物価高騰分を補助し、給食費増額を抑えた898万円（内国県支出金 687万円）

プレミアム付商品券

プレミアム付商品券の配布を行い生活費の軽減と景気対策として実施
　7,127万円（全額国庫支出金）

上下水道料軽減

上下水道料の基本料2ヵ月分の減免を実施
　3,682万円（全額国庫支出金）

議会から、さらに期待

1. 特定農地貸付（町民菜園）については、使いにくい用地の活用を検討、耕作者の生産意欲向上に向けた事業に期待。
2. 移住・空き家対策に関しては、外部の専門家と連携した組織的な取り組みが今後、重要になる。
3. あざみ号運行では、今後も住民の利便性に寄り添った運行を期待。
4. 県内・全国でも給食費の無償化が進んでいる。町民要望も非常に高い事柄なので、今後、無償化に向けた検討を前向きに進めることを希望する。

議員が注目の議案！

17議案を審議　可決・認定へ

詳しくは議会HPへ

国保条例改正

①下諏訪町国民健康保険条例の一部を改正する条例について②下諏訪町福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例について③長野県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

以上3議案は、健康保険証の発行が12月2日に廃止されることに伴う改正です。

反対討論　当町の国保加入者のマイナ保険証利用率は9・96％、9割以上の加入者が利用していない。保険証廃止を強行すれば、混乱が広がることは明らか。マイナンバーカードの取得は任意であり、現行保険証廃止を前提とする本条例改正案に反対。

賛成討論　国の決定事項に基づくものであり、今の保険証自体は12月2日で失効するものではなく、来年7月31日までは今の保険証が利用できることにもなっており、資格者確認証の発行は申請がなくても発行され、運用はこれから細かく決まり改正されていくということで賛成。

採決結果　賛成多数で可決

特別会計　国民健康保険特別会計決算

賛否分かれる

R5年度 国民健康保険特別会計歳入歳出決算

反対討論　R5年度は平均6％国保税を引上げた。元々低所得者や自営業者が多い国保被保険者は、平均6％でも被保険者には大きな負担増。物価高も加わり、収納率低下や短期保険証発行数増加として現れた。国保運営財政上の困難は承知しているが、一般会計から繰入を財源にした財政調整基金の積み立て等も検討すべき。

賛成討論　収支状況を見ると、値上げしても歳入で2％増。歳出の方の保険給付を見ると、2・1％増えている状況の中、基金自体も1000万に減少。この決算状況から見て妥当な値上げである。

採決結果　賛成多数で認定

R5年度 温泉事業特別会計

R5年度は、新規加入が0件、廃止が19件であり、令和4年度から加入金を下げた効果は少なかったが、黒字で望ましい会計である。財政調整基金に当初予算より多く積立ができたことは、今後改修事業などに安心感がある。

R5年度 水道事業会計

年度末に行われた、基本料に対する減免措置は、8811件、金額で約1217万円を減免。国の補助金を活用しているため、令和5年度純利益に影響はない。

一般会計予算決算審査特別委員会から

R6年度一般会計補正予算では、10月15日から始まる新型コロナワクチンは、個人負担が6市町村統一で3200円とするなど、5169万円の増額補正を審議・可決。

陳情・意見書案の審査結果

「政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める意見書」

提出者　林　元夫

政府は、ケア労働者の賃上げを目指したがベースアップは2.0%程度にとどまり、全産業平均からも大きく下回っている。医療・介護現場では退職者の増加や入職者が減少している。政府の責任において全額公費負担による追加の賃上げ支援策を国に求めるもの。

賛成討論　従事者不足は顕著である。消費税は福祉向上に使われるとしていた。

反対討論　当面の改善にはよいが将来的なものではない。公費投入の公平性がない。

陳情の採択を受けて提出され、国に意見書を提出した。

「現行の健康保険証の存続を求める意見書」　**提出者　金井敬子**

マイナ保険証利用率は低迷し、トラブルも多い。現行の保険証の存続を求めるもの。

賛成討論　保険証が廃止されればさらなる混乱が起きる。マイナンバーカードは任意取得のはず。

賛成討論　デジタル化促進は必要で、利便性が上がる。資格者確認証の発行で問題は起きない。

陳情も不採択となり議員提案の意見書は見送られた。

「災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援を求める意見書」　**提出者　野沢弘子**

偽情報の拡散防止は喫緊の課題であり、災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築に向けて支援を求め、政府認定アプリ等、国民への普及を推進することを求めるもの。

賛成討論　フェイクニュースに対処できる次世代総合防災システムなどの活用は必要である。

反対討論　偽情報の拡散防止は必要だが、すでに地方自治体が国の支援を受けて進めている。国民全体にアプリ等による情報発信は必要と思わない。

賛成多数で国に意見書を提出した。

９月定例会　議案等賛否一覧

※議案等について、賛成、反対の双方があった場合のみ表示しています。

議案名等（省略） ＼ 議員名（議席順）	議決等結果	樽川信仁	髙橋幸二	林吉広	花岡進	竹元完奈	大橋和子	金井敬子	豐島健之	野沢弘子	松井節夫	中山透	青木利子	林元夫
国民健康保険条例の一部改正	可決	／	○	○	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○
福祉医療費給付金条例の一部改正	可決	／	○	○	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○
長野県後期高齢者医療広域連合規約の変更	可決	／	○	○	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○
令和５年度国民健康保険特別会計決算	認定	／	○	○	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○
政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める陳情	採択	／	×	×	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○
「現行の健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める陳情	不採択	／	×	×	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×
政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める意見書	可決	／	×	×	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○
現行の健康保険証の存続を求める意見書	否決	／	×	×	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×
災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援を求める意見書	可決	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

賛成者は「○」、反対者は「×」とします。議長は採決に加わらないため、「斜線」としています。

議員の活動～

長和町議会との勉強会

長和町･下諏訪町議会議員研修会にて長和町議会の皆さんをお招きして、しもすわ今昔館おいでやとおんばしら館よいさの視察を開催しました。

議員研修会に参加

長野県町村議会議長会議員研修会に参加。長野県内672人の町村議員が、年に一度、松本のキッセイ文化ホールに集まり研修を行いました。

諏訪湖クリーン祭

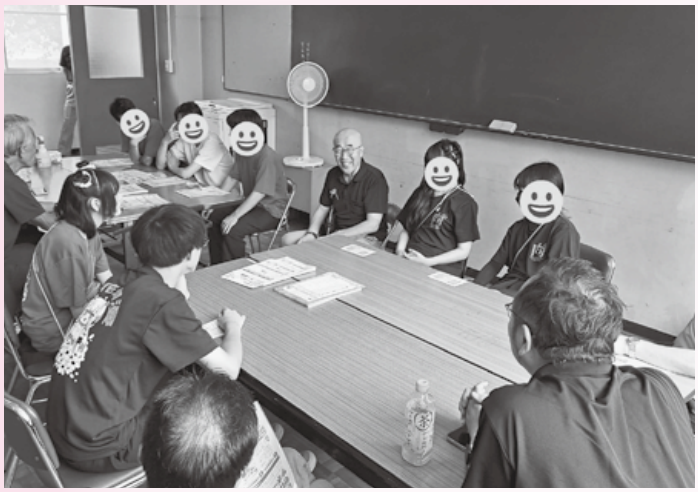
諏訪湖クリーン祭に参加させていただきました。美しい諏訪湖のために多くの皆さんが活動されています。これからもきれいな諏訪湖にしていきたいですね。

～議員のお仕事・

・・議員のお仕事とは？・・

議員は、地域などの課題に向き合うだけでなく、さまざまな交流会や勉強会に参加し、知識を深めています。町民や専門家の方との対話を通じて、新たな視点を得ることで、より良い政策づくりに繋げています。

向陽祭への参加



下諏訪向陽高校の向陽祭にお伺いして、懇談会を開かせていただきました。大勢の生徒さんたちと意見交換ができて素晴らしい時間でした。

八島湿原 ヒメジョオン除去

八島高原ヒメジョオン除去作業に参加いたしました。八島ケ原湿原の植物生態系を守るために外来種のヒメジョオンを毎年除去しています。

お舟祭り

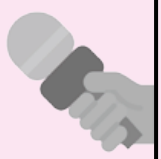
お舟祭・宵祭りが開催され浴衣を着て参加しました。町あげての久しぶりのお祭りを、議員それぞれの立場で盛り上げさせていただきました。

一般質問12の視点

「歩いて・見て・聴いた」こと「議員自身の提言」も交えて、町に考えを質す！
議員改選から一年が経ち、２回目の９月定例会。あらゆる町の課題に、議員一人一人の目線で、執行部と真剣な議論を展開。今後の町の動向にも注目！

P14 安心安全
P13 働き方改革
P13 地域の安全
P12 音楽フェス
P12 補助事業
P11 太陽光発電
P11 危機管理
P10 防災強化
P10 保険証廃止
P9 保育料軽減
P9 防犯対策

皆さんはどのテーマに関心がありますか？



各議員のQRコードから一般質問の録画映像を見ることができます。
スマートフォン等からアクセスして、ぜひご覧ください。
全質問項目は、下諏訪町ホームページから見ることができます。

下諏訪町議会
議会中継チャンネル

質問順

9月10日

1. 林　吉広　防犯カメラの設置状況は
2. 竹元　完奈　未満児保育料の負担軽減は
3. 花岡　進　紙保険証は存続させるべき
4. 金井　敬子　災害への備え強化
5. 中山　透　Ｊアラートの不鳴り原因
6. 野沢　弘子　ゼロカーボン宣言の実現は

9月11日

7. 髙橋　幸二　貸出+補助金 二刀流支援を
8. 林　元夫　町の音楽文化高揚を
9. 豐島　健之　自治会未加入者との共助は
10. 青木　利子　男女の賃金格差の解消は
11. 松井　節夫　町内の急傾斜地は
12. 大橋　和子　※体調不良の為欠席

一般質問

防犯対策

林　吉広（はやし　よしひろ）

防犯カメラの設置状況は

答弁　現在町内に41台設置済み

Q　防犯カメラ設置促進の町の考えは。

A　町長　プライバシーの侵害の問題などで、撮影や録画は個人情報になるので、公共施設などへの設置は県のガイドラインに基づいて協議・判断をして、「必要最小限」で検討をしていく。

Q　防犯カメラ設置検討協議会の設置の検討を。

A　消防課長　街頭防犯カメラの設置については多方面との多くの協議・対応が必要と考えるので、今後協議会の設置など慎重に検討をしていく。

Q　児童虐待への対応と具体的な組織体制は。

A　教育こども課長　教育こども課を事務局として支援をしている。年1回の情報共有個別ケース検討会を行い個別対応もしている。早期発見につとめ発見時は関係機関と連携しながら迅速な支援を開始し、子どもたちを支えていく。

Q　児童への性被害対策は。

A　教育こども課長　県では中高生向けのリーフレットの配布をしている。家庭支援は懇談などの聞取りから慎重に対応している。

安心して歩ける、犯罪のない町！

保育料軽減

竹元　完奈（たけもと　かんな）

未満児保育料の負担軽減は

答弁　9月より第3子完全無償化へ

Q　保育料の負担が大きく、多子出産をためらっているなどの子育て世代の声も多数ある。未満児保育料負担軽減へ現状と課題は。

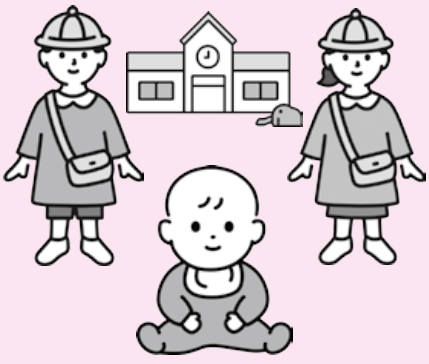
A　教育こども課長　国の減免基準を拡充した町独自基準を定め、3人以上養育する家庭は第3子半額など、ケースによっては最大4分の3減免している。新たに県の保育料軽減補助金を活用し、今年度9月から兄弟が同時入所でなくても、第3子完全無償化にするなど負担軽減を図る。

保育士の負担軽減を

Q　保育士の労働環境・労働時間の負担軽減への課題は。

A　総務課長　負担軽減には、正規職員の増員が課題だが、採用募集に思うように応募なく、数年で離職する保育士も多い。

A　教育こども課長　休憩代替の保育士を導入するため、派遣会社を通じて募集をかけたが採用に至らなかった。保育士の働きやすい環境を整備するためにも、派遣保育士の受け入れ、保育資格保有移住者の発掘、潜在保育士へも働きかけるなど、引き続き保育士確保に努める。



こどもと大人にとってよりよい園に

一般質問

保険証廃止

花岡 進（はなおか すすむ）

紙保険証は存続させるべき

答弁 マイナ保険証を持たない人も対応

Q 町国保加入者のマイナ保険証登録率と利用率は。

A 総務課長 令和6年7月末現在、マイナ保険証の登録率は54・74％。利用率は令和6年7月1か月分で9・96％である。

Q マイナ保険証を持たない人に交付される資格確認書は申請なしで交付すべきでは。

A 住民環境課長 当面、申請によらず交付される。

自衛官募集活動への対応

Q 自衛隊長野地方協力本部による住民基本台帳の18歳と22歳の個人情報閲覧の中止を。

A 住民環境課長 法令で定められた正規な事務。閲覧は拒めない。

Q 町内開催のイベントでの自衛隊展示を中止すべきでは。

A 総務課長 災害救助など自衛隊の役割を知っていただくもの。自衛官募集に協力していく。

子ども医療費の無料化

Q 子ども医療費窓口完全無料化に向けて受給者負担金500円への町独自助成はできないか。

A 住民環境課長 福祉医療制度の維持のために500円は妥当。

みんなが安心できる受診環境を

防災強化

金井 敬子（かない けいこ）

災害への備え強化を

答弁 複数項目について、検討する

Q 今年度予算を使い切り、受付を打ち切った「木造住宅の耐震診断」「耐震補強工事補助」について、補正予算を組み事業の継続を。

A 建設水道課長 国・県の補助金を活用した補助であり、その上限に達したため、受付を中止した。補助追加を、要望していく。

Q 排泄物を自動密封する災害用トイレ購入に補助の具体化を。

A 総務課長 検討していく。

Q 車椅子ユーザーへのけん引式車椅子補助装置あっせんや、購入費補助の検討を。

A 町長 現在、自主防災組織での購入に補助を出しているが、個人購入は対象外。検討したい。

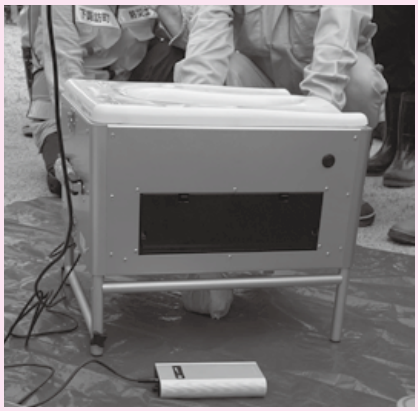
学童の環境整備を

Q 学童クラブで生じている問題について早急に問題解決を。

A 教育長 支援員会議は毎月開催、代表者とも話をしているが、支援員の個々の考えもあり難しい案件。子どもの側に立った意義のある支援になっているか、丁寧に、慎重に対応したい。

Q 出欠席確認方法の改善を。

A 教育こども課長 システムは構築済み。早急に、運用開始する。



排泄物を自動密封する簡易トイレ

一般質問

危機管理

なかやま　とおる
中山　透

Jアラートの不鳴り原因

答弁　複数人でチェックしていく

Q　6月20日のJアラートが鳴らなかった原因は。

A　総務課長　訓練放送は職員による誤報防止のため切り替えが必要であり、今回の件は切り替え設定の誤りにより鳴らなかった。

Q　H24年にも同様なことが起こっている。その時の教訓は。

A　総務課長　前回は、落雷による機械の故障が原因であった。

A　町長　今回の機器操作誤りはあってはならないこと。日々の機器の点検、確実な操作を複数人でチェックして、確実に操作を行っていきたい。

カスハラ対応は

Q　町でのカスタマーハラスメントをどのように捉えているか。

A　総務課長　町として対策要綱を制定。対応は複数の職員で行い、事案があったときは、町の対策委員会に報告する。

Q　要綱だけでなく、条例化する考えは。

A　総務課長　要綱には、ハラスメント防止、不当要求に対する措置が盛り込まれている規定もある。事案によっては弁護士への相談もある。

カスハラへの適切な対応を

太陽光発電

のざわ　ひろこ
野沢　弘子

ゼロカーボン宣言の実現は

答弁　文化センターへ発電・蓄電池を設置

Q　今後の設置計画は。

A　住民環境課長　費用対効果を考慮して公共施設への設置を検討。

Q　ゼロカーボンを目指して、「プラスチックごみの削減のためにマイボトルの利用を推進したいが、町庁舎にマイボトルの「給水スポット」を設置して欲しい。

A　住民環境課長　給湯室の安全な水道から給水するようPR。

小さな子どもの体調不良

Q　新生児から高校生まで、子どもの病気の時の親御さんの不安は計り知れない。夜間や休日もオンラインで医師への医療相談や診療が可能なアプリを導入し、子育てしやすい下諏訪の実現を。

A　町長　オンラインは感染リスクの軽減や時間を気にせず相談できる。地域医療や費用対効果を考え検討したい。

錬成の家　解体後の跡地利用

Q　民間事業者による宿泊施設を、誘致したらどうか。

A　教育こども課長　町内の旅館、自動車会館Bu-buが合宿を受け入れている。新たな誘致は難しい。

「錬成の家」とプレハブ漕艇庫

一般質問

補助事業

髙橋 幸二（たかはし こうじ）

貸出＋補助金 二刀流支援を

答弁 貸出や応援ギフト10万で対応

Q ０カ月から利用できるチャイルドシートの用意があるか。

A **教育こども課長**　０才１台・１才１台・２才２台・３才３台、適切なものを貸出している。

Q ベビーカー貸出の考えは。

A **教育こども課長**　貸出はチャイルドシートの貸出のみだが、育児用品のマッチングを行っており、ホームページに掲載しＲ６はベビーカー１台を仲介した。

和田峠事故防止対策は

Q 近年の事故状況は。

A **建設水道課長**　Ｈ30と・Ｒ６年に死亡事故があり、直近５年間で10件の事故があった。

Q 事故防止に向けた取組みは。

A **建設水道課長**　視界の確保やガードレールの延長、トラック運転手に対して啓発活動を行った。

協力隊募集について

Q 協力隊募集の応募状況は

A **町長**　確保は厳しい状況。ウェブサイトなどでＰＲしていく。

生ごみ処理機器補助

Q ネット申請を可能に。

A **住民環境課長**　メール等で出来るようデジタル推進室と検討。

ゼロカーボン 2050 しもすわ shimosuwa

Web投票により決定したロゴマーク

音楽フェス

林 元夫（はやし もとお）

町の音楽文化高揚を

答弁 積極的にできる限り支援

Q 柳澤寿男下諏訪音楽フェスティバル（仮称）開催には、30以上の団体・企業・個人から賛同を得ている。町出身の彼の業績を称えるとともに、町の音楽文化高揚のためにフェスティバルの開催を。

A **町長**　文化センターを拠点に音楽文化が盛んになればありがたい。積極的に出来る限りの支援をしたい。

宮坂町政の評価は

Q 財政から見た宮坂町政の成果・評価とこれからの課題は。

A **総務課長**　文化センター改修工事延期等により町債が減少、元金返済が進み、基金も増額となり安定していると評価。これからの投資的事業に対処できる。課題はＲ10年に公債費が11億円になること。

A **町長**　任期のほぼ丸３年が新型コロナ禍で大変だった。効果的な交付金活用で間違いない財政運営が出来たと思う。

Q 公約から見た成果・評価。

A **町長**　公約のすべてに手を付け、次への方向性を示せた。

文化センターで行われた音楽会

一般質問

地域の安全

豊島 健之（とよしま たけゆき）

自治会未加入者との共助は

答弁 個別避難計画の策定をきっかけに

Q 自治会未加入の為、個別の特異事項が不明の者への共助が適切に成し得るか不安だが、町は彼等との共助をどう考えているか。

A 町長 個別避難計画は、発災時に避難行動要支援者が、どこへ誰と避難するかを予め定めておくもの。これら策定を一つの機会として自治会への加入に繋げて頂きたい。町としても自治会の重要性と加入に向けての広報活動をしっかりと行なっていきたい。

防災事業の県との連携

Q 災害危険地域の砂防・治山の状況は、県との連携は如何。

A 建設水道課長 砂防事業は県事業であるため、担当である諏訪建設事務所整備課には都度相談を行っている。今年度予算は1億3千万円、前年度の約2・4倍となっており、次年度以降も整備に必要な予算の配分が見込まれる。

A 産業振興課長 治山事業の担当は諏訪地域振興局林務課である。これまでも町が第一優先箇所として要望した箇所は、全て事業化・実施を頂き、小規模工事は県単独予算で施工してもらう等、県とは良好な関係を築けている。

今後も安全なまちづくりへの連携を

働き方改革

青木 利子（あおき としこ）

男女の賃金格差の解消は

答弁 男性の育児休暇取得推進が鍵に

Q 町内企業の女性管理職の占める割合は。

A 産業振興課長 従業員数の多い事業者への聞き取りでは、5％未満から約40％の範囲でばらつきがある。業種によって女性従業員の割合が異なり、働き方改革の進捗の差などが理由とみられる。

Q 町の女性管理職の比率や男女の賃金格差の開示方法は。

A 総務課長 町ホームページで開示。本年度は管理職17人中、女性職員は2人。男性の給与に対する女性給与の割合は、昨年度91・9％。役職段階別、勤続年数別でも女性は男性を下回る傾向。給与の制度上に男女の差はないが、女性の育児休暇取得や世帯主の扶養手当や住居手当が支給の差に。

カムバック採用導入は

Q 転職が珍しくなくなり民間企業へ転職する人も増えている。様々な事情で町職員を離れる人や企業間転職も増えているが。

A 総務課長 本年度は、一度退職した人が受けられるよう保育士や介護職の受験年齢を引き上げた。導入は今後の課題と捉える。

本会議場

一般質問

安心安全

松井 節夫（まつい せつお）

町内の急傾斜地は

答弁　東町、武居、星が丘などに8カ所

Q 地震や大雨に対する急傾斜地の対策はどうなっているか。

A **建設水道課長**　地域防災計画の中でR2年武居擁壁完成。R6年度高木の大沢川砂防堰堤工事着手。防災パトロール強化。

Q 6区下屋敷の国道のり面がネット膨らみや破断など危険。

A **建設水道課長**　区長、町内会長から樹木伐採の要望が出ている。ネットも含めて県に要請。

Q 急斜面や砥川沿い道路などの除草は住民では無理。対策は。

A **建設水道課長**　温暖化で草の伸びが早い、県にも要望している。

Q 春宮上の通学路にウッドチップを敷いてもらったが不十分。

A **建設水道課長**　枕木は無理。今後もチップを補充して対応。

バリアフリー化の状況

Q 町の点字ブロックの状況は。

A **建設水道課長**　町道田中、西大路、東赤砂、湖岸通り、古川線の5カ所。新設予定はない。

Q 道路の端が荒れて危険だ。

A **建設水道課長**　今年度は古川、田中線の歩道を整備する。

142号線歩道の除草

町区長会との意見交換

町内10名の全区長をお招きし、意見交換を行いました。

人口減・少子高齢化が叫ばれる昨今、10年・20年先を踏まえた区の編成のあり方や小中学校の統廃合問題についての今後の方向性、地域経済活性化の要望や増え続ける空家への対応、といった地域の様々な問題について自由闊達な意見交換がありました。

だっこの会 × 下諏訪町議会 おはなしかい

子育て世代のみなさまの貴重なご意見を議会活動に反映させることを目的として、７月８日に子育て勉強会「だっこの会」の方々と、下諏訪町議会生活文教常任委員会の委員６人でお話し会を開催いたしました。さくら・みずべ・とがわ３つの保育園グループに分かれ、保育園に関することや、日常の中の困りごと、子育てや町政の「もっとこうなったらいいな」という当事者の生の声をお聞きすることができました。

生活文教常任委員会では、「だっこの会」との懇談会を行った結果、議会として何ができるかと議論を重ね、下記の提言書を町に９月30日に提出しました。

子育て支援に関する提言書

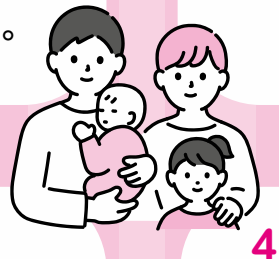
生活文教常任委員会　　委員長　大橋和子

1　妊産婦期の支援について

①妊婦健診受診についての経済負担軽減を検討すること。
②出産一時金については、出産費用の無償化を視野に入れた負担軽減を推進すること。
③産後ケアについては、産後ケア事業助成券は、通所型、宿泊型も同様に１歳半までの延長を検討すること。

2　保育園について

①第１子が保育園未満児クラス在籍時に、第２子以降が生まれたあとの育休退園について、廃止を早急に検討すること。
②待機児童が発生しない体制作り、受け入れ態勢の整備を。
③保育士の給与における処遇改善と、残業や持ち帰り仕事などの負担軽減を。
④働いた分のほとんどが保育料になっており、未満児保育料無償化を視野に入れた軽減策を。



3　居場所づくりについて

天気にかかわらず室内や半屋外で０歳から小学生まで同じ施設で親子で遊べる、児童館のような居場所づくりの検討と、長期休みの小学生の居場所づくりを、イオンにおける施設のあり方に強く反映されたい。

4　経済的負担の軽減について

①ファミリーサポートセンター利用料補助を検討すること。
②パン代は副食費に含めるなどの負担軽減配慮を検討し、保育園の副食費、給食費無償化を視野に入れた軽減を推進すること。
③医療費完全無償化を視野に入れた軽減を推進すること。

この町に住んで思うこと

「父の背中を追いかけて」

下諏訪生まれ下諏訪育ちです。幼い頃から父の車いじりや工作を見て育ち、父の趣味を手伝ううちに自分も「モノ作りが楽しい」と思うようになりました。高校卒業後、医療関係に進もうと看護学校へ進学しましたが、やはりモノ作りの方が自分には合っていると思い直し、医療機器の製造会社に就職して、現在は設計開発の仕事をしています。

都会に憧れた時期もありましたが、行ってみて、あの雑踏の中で暮らすのは「ないな」と思いました。閑静で水と空気が美味しい地元で、自分のやりたい仕事に就けて満足しています。父の手伝いで地区の分館活動にも参加し、子供たちに喜んでもらえたのも良い思い出です。

もっと地域が賑わうまちづくり、そこに若者が参加しやすいまちづくりを期待します。議員の皆さんには本当に頑張ってもらいたいと思います。　　インタビュアー　豊島

7区在住
山崎　あゆか

～議長のつぶやき　ケアンズ視察～

7月15日から5泊6日でオーストラリアケアンズに中高生海外研修の事前視察に行ってきました。物価高騰により、ニュージーランドから変更となり今回の事前視察が決まりました。ケアンズはコンパクトな町であり2時間あれば街中一周できる綺麗な町です。受け入れの決まったケアンズステートハイスクールは、世界の若者との出会いがあり、先生・生徒皆、好感の持てる素晴らしい学校です。街並み、景色、ぜひ子どもたちに行っていただき「夢のある世界」を経験してください。　　議長　樽川信仁

編集後記

11年前に議会だよりの定期発行を始めた私たちは、議会を知って欲しいという一念で読み物の価値観を優先させた。価値観は時代の流れの中で変容していく。昨今SNSで象徴されるように、速攻性と見る世界観が求められるようになった。これからも私たちはもがく。一人でも多くの方に読まれることを願って。（元）

広報特別委員会

委員長	林　元夫	副委員長	竹元完奈
委員	髙橋幸二	委員	大橋和子
委員	豊島健之	委員	野沢弘子

議会だよりモニター募集

○活動内容
・議会だよりへのご意見、アンケートのご回答、モニター議会へのご参加をお願いします。

○任　　期　2年間
（R7年1月発行分～）

○募集定員　15人程度

○申し込み方法
11月26日（火）までに議会事務局☎27-1111（内線302）まで、氏名・年齢・住所・電話番号をお申し出下さい。
上記QRからも申し込み可能です。

発行・編集　下諏訪町議会
下諏訪町　議会だより　で検索
TEL 0266-27-1111　FAX 0266-27-1237
Email gikai@town.shimosuwa.lg.jp